



LIXIL 縦すべり出し窓 カムラッチ 小開口アーム(固定タイプ) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

▲注意

●アーム取付けねじ・アーム受け取付けねじは $2.0 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20 \pm 2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }、ブラケット取付けねじは $1.7 \pm 0.3 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $17 \pm 3 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。

●枠が躯体に取付いている場合は、本製品を取付ける際、障子を取外すことになります。障子は最大25kgとなりますので、重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。

■取付け上のお願

- 取外した障子取付け用ねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。
- 取付け後、必ず小開口状態になることを開閉を繰り返して確認してください。
- 取付けねじの締付けは手回しドライバーを使用し、電動工具を使用しないでください。
- 必ず指定の取付けねじと取付け金具を使用してください。
- 電動ドリル使用時は、必要のない所まで貫通しないようご注意ください。
- ドリルにて、ねじの下穴加工をする際は、縦枠、パッキンにキズを付けないよう注意してください。

■使用工具一覧

ドライバー(+)	電動ドリル
ドリル	仮止め用テープ
φ3.5	

■部品・ねじ一覧表

記号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
姿図								
商品コード	Z-11 L/R BWLL							
	1	2	各1	2	1	2	1	

■取付け順序

1 障子の取外し

▲注意

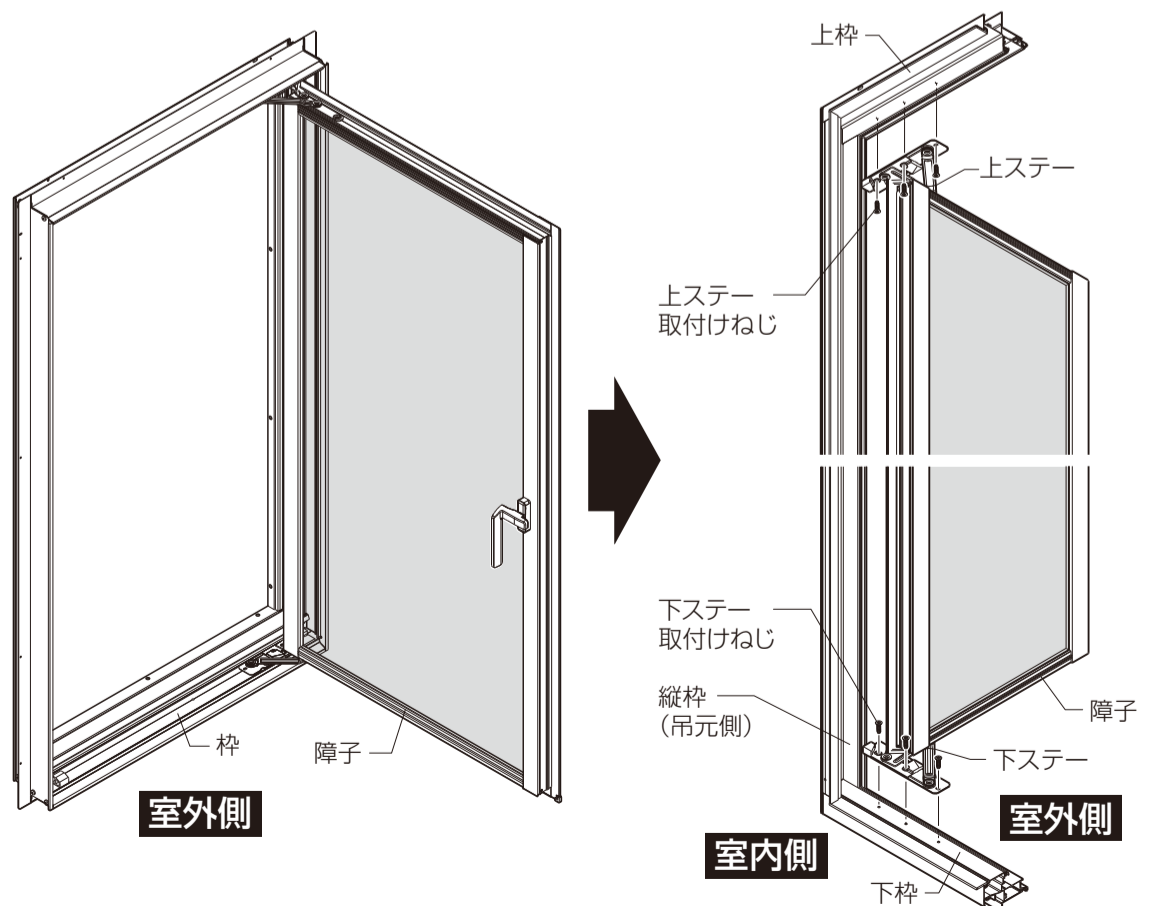
●枠が躯体に取付いている場合は、本製品を取付ける際、障子を取外すことになります。障子は最大25kgとなりますので、重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。

※障子吊込み前の取付けの場合は、この作業は不要です。

●障子を開きステー取付けねじを外し、障子を枠から取外します。

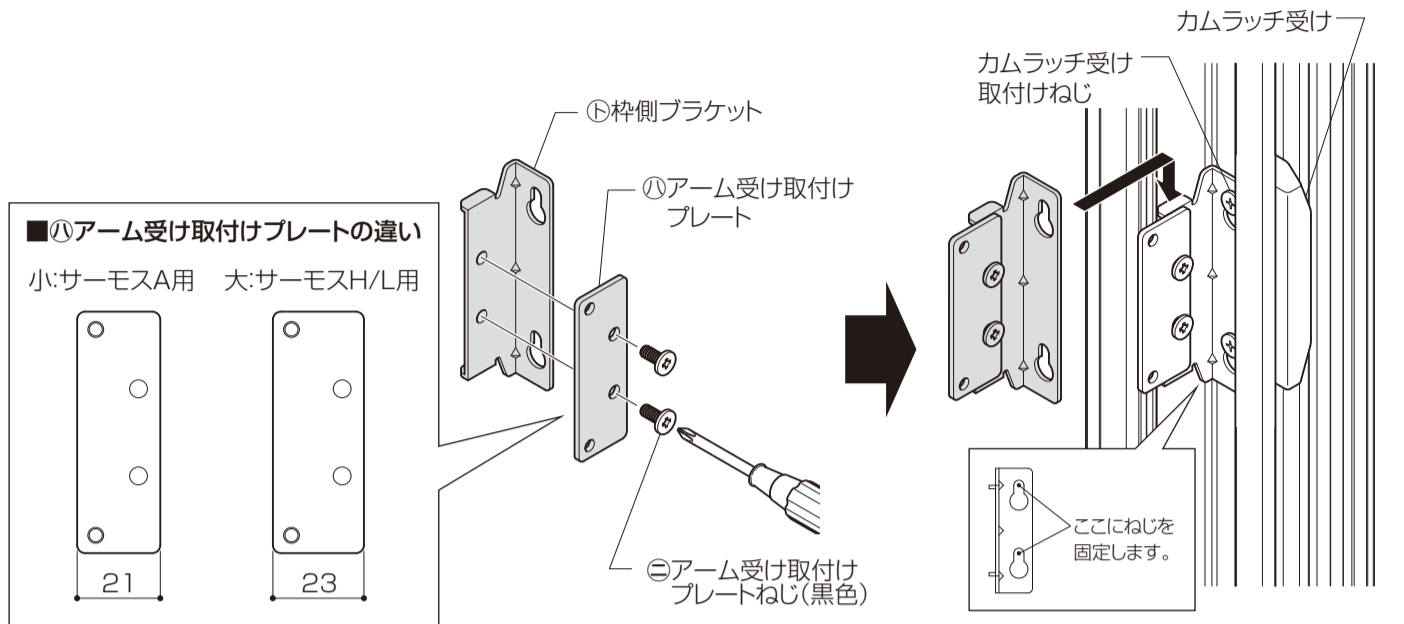
お願い

- ※すべてのねじを取外し終わるまで障子を支えておいてください。
- ※取外した障子取付けねじは再度使用しますので、紛失しないようにしてください。
- ※上ステーに仮止め用の引掛け部はありません。障子を取付け、取外しの際は、必ず手で支えて作業を行ってください。



2 アーム受け取付けプレートの取付け

- ① ① 枠側ブラケットに② アーム受け取付けプレートを③ アーム受け取付けプレート取付けねじ(黒色)で取付けてください。
- ② カムラッチ受けの取付けねじをゆるめ(枠側ブラケットの板厚分1.5mm程度)、① 枠側ブラケットを上からねじに引っかけます。
※ねじをゆるめすぎるとねじの落下、紛失につながります。
- ③ ねじの頭で① 枠側ブラケットを挟み込んだことを確認し、ねじを本締めしてください。



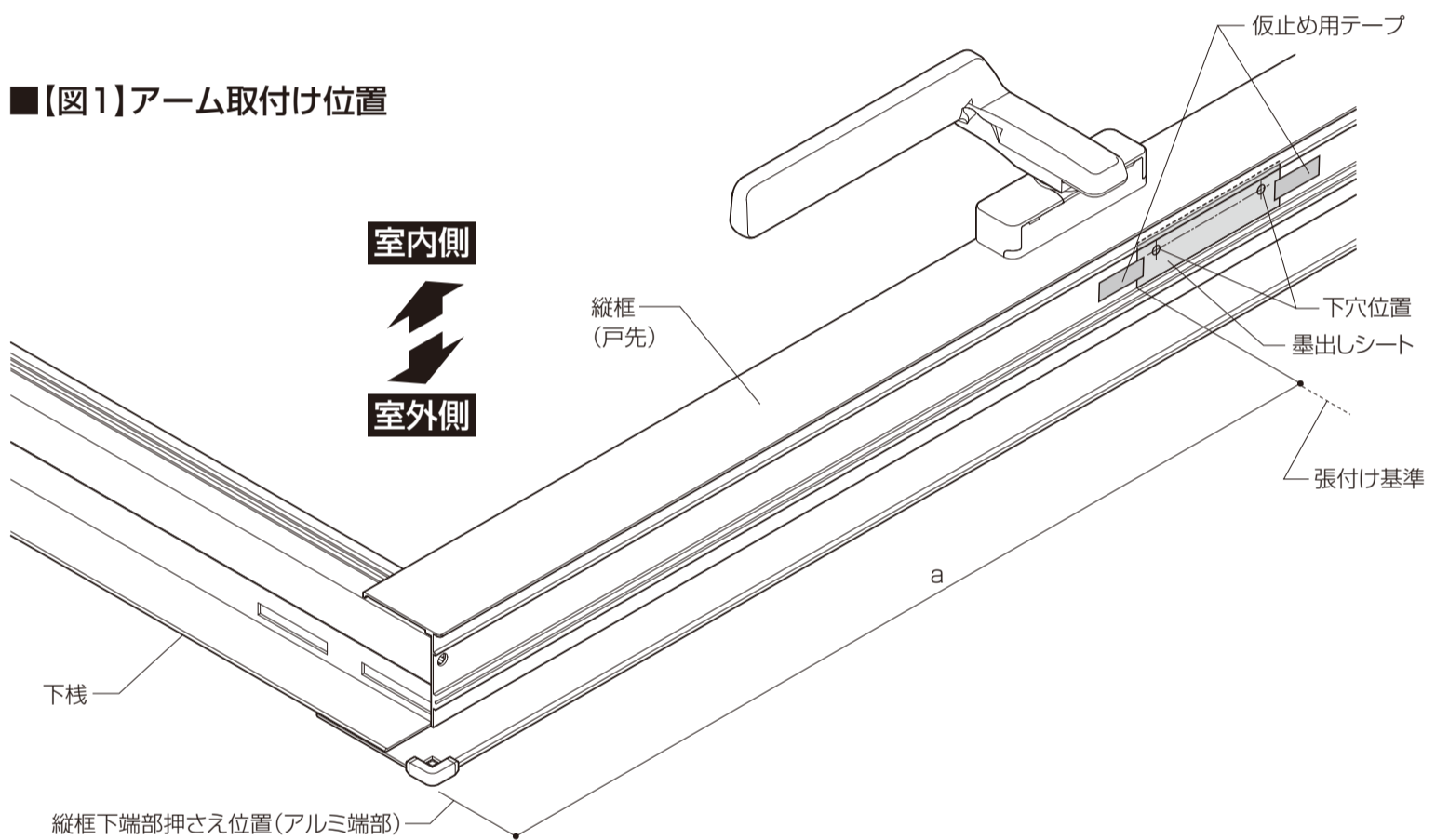
▲ 注意

● ブラケット取付けねじは $1.7 \pm 0.3 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $17 \pm 3 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。アーム受け取付けねじは $2.0 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20 \pm 2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。

3 アームの取付け

- ① 本取付け説明書の最後に墨出しシートがあります。切り取って【図1】の位置で仮止めテープで仮止めしてください。サイズにより位置が異なります。【表1】を参照ください。
- ② 下穴位置を墨出した後、 $\phi 3.5$ のドリルで下穴を2カ所あけます。

■【図1】アーム取付け位置



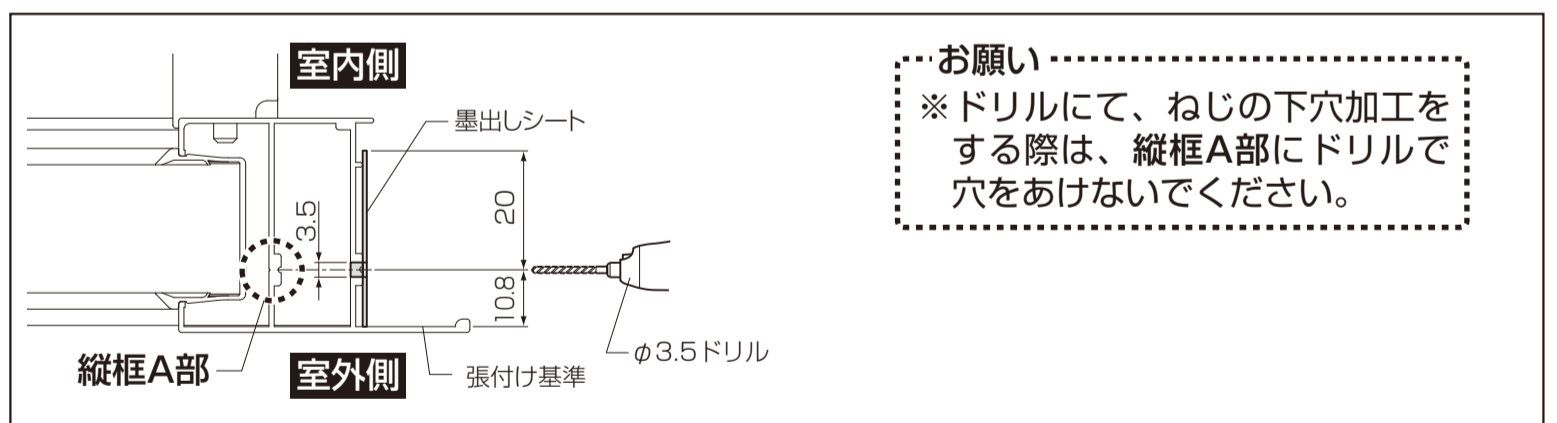
■【表1】

<規格品の場合>

呼称	Hサイズ	a
07	770	400
09	970	500
11	1170	600
13	1370	700
15	1570	800
18	1870	950
20	2070	1050
22	2270	1150

<特注品の場合>

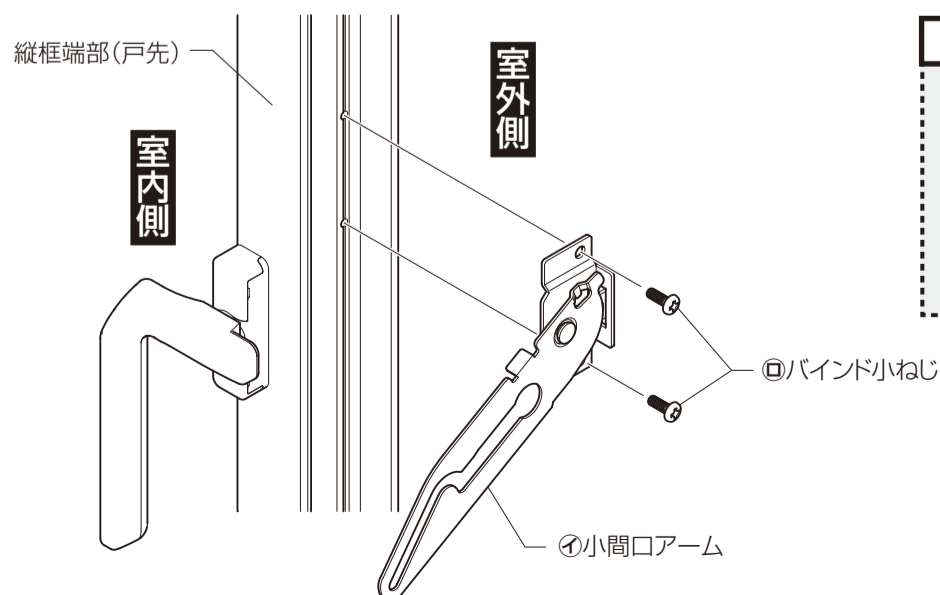
a
H/2+15



お願い

※ドリルにて、ねじの下穴加工をする際は、縦框A部にドリルで穴をあけないでください。

- ③ ④ 小間口アームを、⑤ バインド小ねじで取付けてください。



▲ 注意

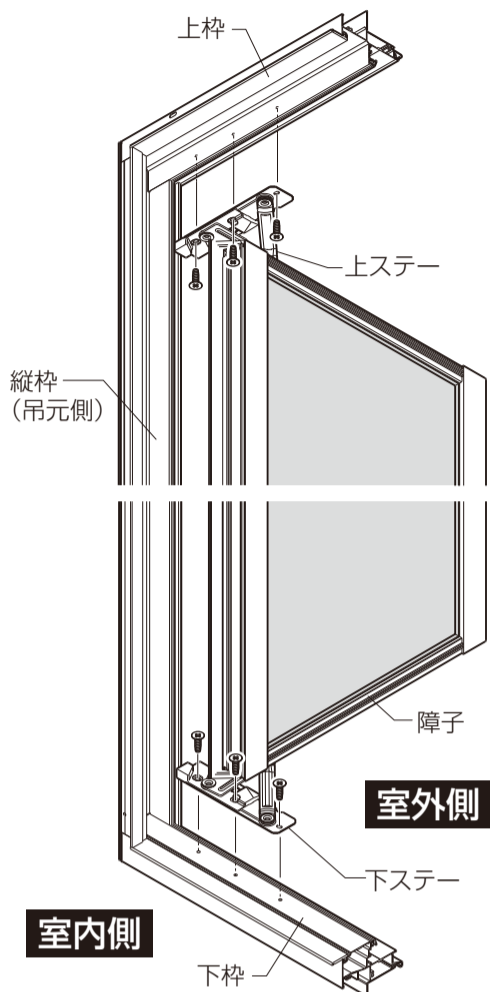
● アーム取付けねじは $2.0 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20 \pm 2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。

4 障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。

●1で取外した障子を再度取付けます。

①障子に付いている上・下ステーを引出し、広げます。



②下ステーを下枠にのせて、障子の上部を立て起こします。

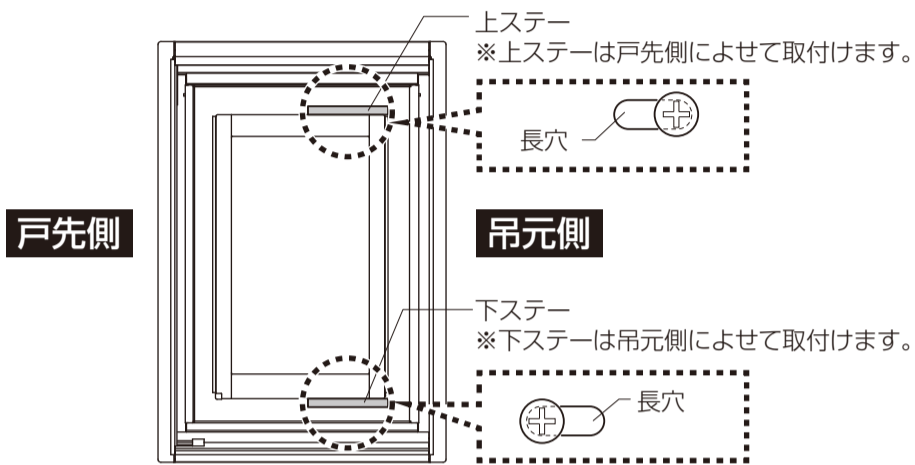
③上ステーのねじを最初に取り付けた後に、下ステーのねじを取付けます。

お願い
※すべてのねじを取付け終わるまで障子を支えておいてください。

■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。

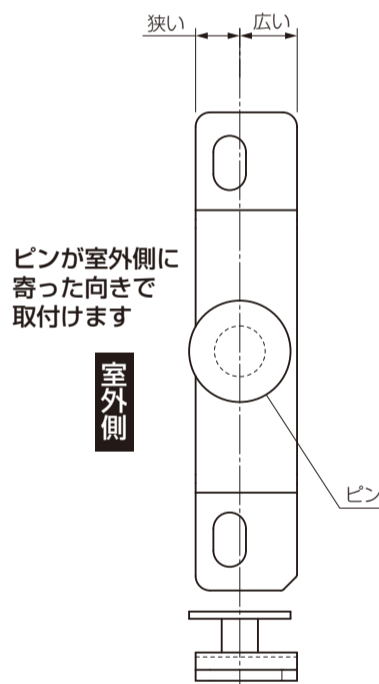
障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。



5 アーム受けの取付け

①アーム受けの確認

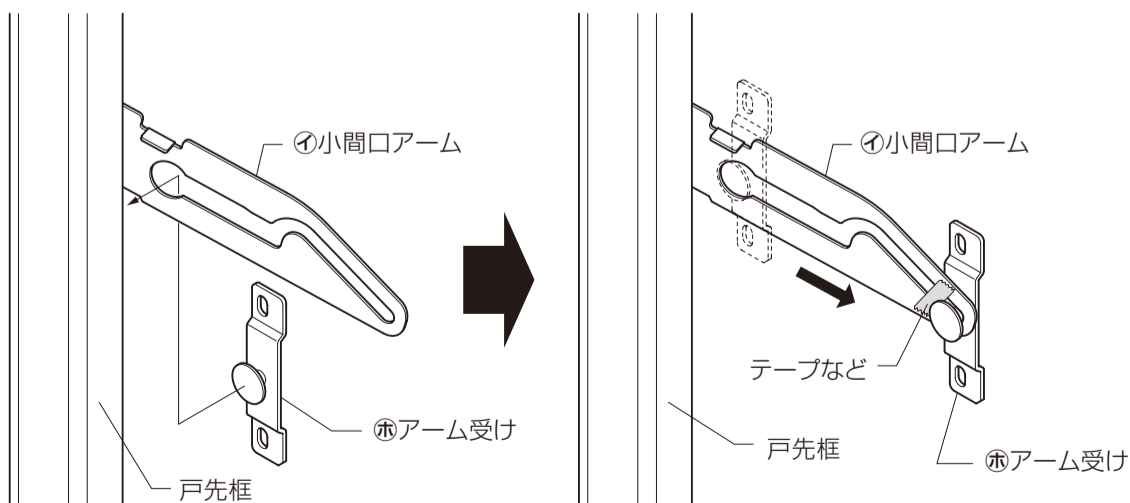
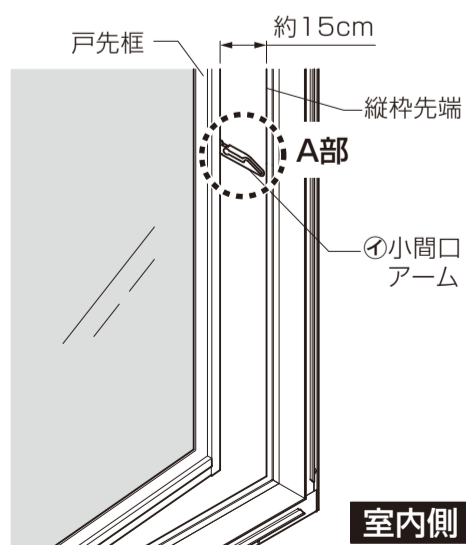
アーム受けには向きがあります。事前に確認してください。



②アーム受けの挿入

障子を15cmほど開いて①小間口アームを室内側に起こします。①小間口アームの穴にアーム受けのピンを縦枠側から挿入して、スリットの先端にずらしします。

■A部詳細図

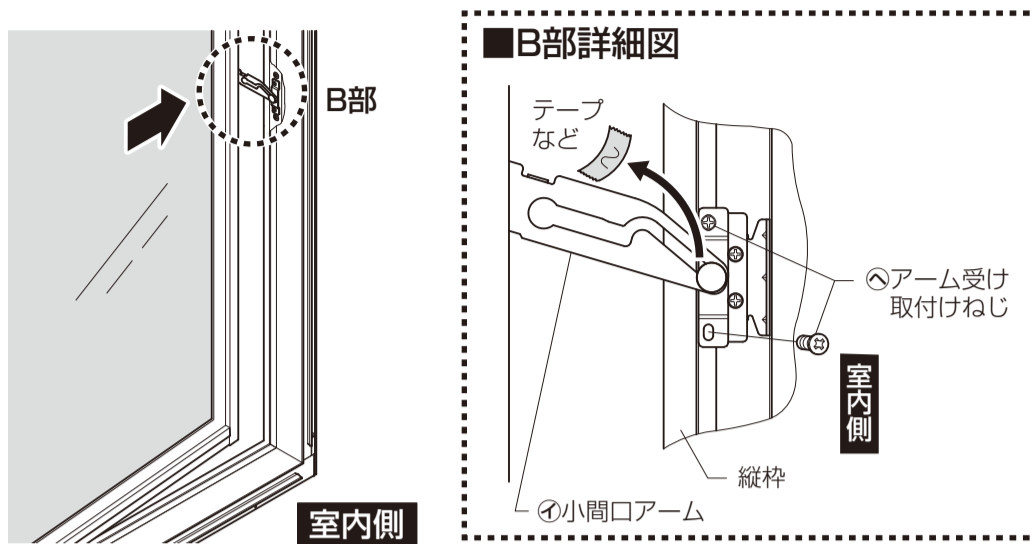


ポイント!

●スリットの先端にずらしたところで、受けが落ちないようにテープなどで止めておくと後の作業がし易くなります。

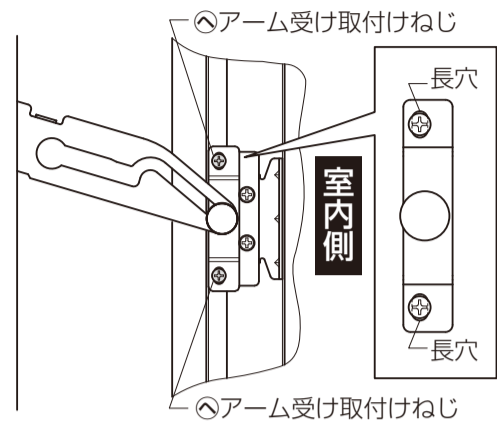
③アーム受けのねじ止め

Ⓔアーム受け取付けねじ1本で仮止めした後、2本目を止めてください。
 ※アーム受けのズレ止めのために張ったテープなどは、はがしてください。



④アーム受け取付けねじの本締め

障子を少し閉じて、もう一度Ⓔアーム受け取付けねじを確実に締め付けてください。アーム受けは長穴になっています。開閉時にアーム受けのピンがⒺ小間口アームに引っかからない位置へ調整してください。



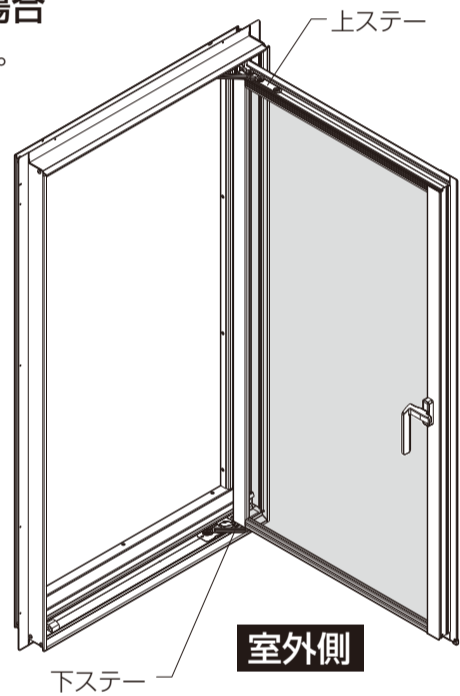
▲ 注意

●ねじは $2.0 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($20 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。

■障子の建付け調整

■障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。



●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。
 ※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

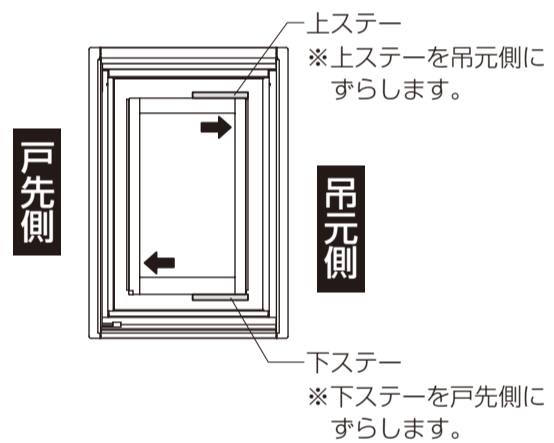


図1

◆墨出しシート

